

環境社会システム学科

※2026年4月から環境政策・計画学科より名称を変更しました。



答えを探すな。『問題』を探せ。

Point 1

文理を問わず幅広い視野で環境と向き合う

文理双方の専門知識と方法論を学ぶことで、実社会で求められる総合的な力が身につきます。

Point 2

幅広い分野で役立つ実践的スキルを習得

データ分析やマネジメント、場のデザイン、コミュニケーション等、現場で必要とされるスキルを磨きます。

Point 3

自分自身で課題を設定し、解決策を提案

現場でのフィールドワークや行政職員・地域住民などのヒアリング調査を実践し、実社会の課題に取り組めます。

◆ 学びの流れ

基礎的な理論とスキルを学ぶ

環境のスペシャリストとして「幅広い視野で物事を見通す」ための基礎的な理論やスキルを徹底して学びます。

1年生

- ◆環境科学概論
- ◆環境社会学
- ◆経済学Ⅰ
- ◆応用数学
- ◆政策形成・施設演習
- ◆地域調査法
- ◆環境フィールドワークⅠ
- ◆ファシリテーション技法・演習

Q 科目 PICK UP



政策形成・施設演習

各回、担当教員が専門分野の最先端の内容について講義・ディスカッション・現場ツアーを実施し、進路について考えを深められる学びを展開しています。

発展的な知識と現場スキルを学ぶ

環境政策・計画に関わる基本的な考えから、現場で使えるスキルを学ぶグループワークまで、幅広い専門知識や能力を身に付けます。

2年生

- ◆環境政策学
- ◆環境計画学
- ◆環境経済学
- ◆環境シミュレーション
- ◆市民参加論
- ◆環境フィールドワークⅡ
- ◆地域調査法演習
- ◆社会システム分析設計技法・演習

環境の現場を実践的に学ぶ

環境の現場の調査や実務に直結する講義・演習を通じて、環境の専門家として社会に関わり働きかけていくための実践的な力を習得します。

3年生

- ◆環境フィールドワークⅢ
- ◆環境社会システム演習
- ◆社会調査実習
- ◆環境法
- ◆水環境政策論
- ◆廃棄物管理論
- ◆環境マネジメント論
- ◆地理情報システム論



環境社会システム演習

社会で起こっている問題の解決策を探るため、データや現場の声を収集し分析します。また、教員の指導のもとで、卒業論文で取り組むテーマを探ります。

4年生

4年間の学びの「集大成」

自分で探し出した問題に対して、学んだ知識やスキルを総動員して解明・解決に向けて取り組みます。環境問題に限らず、実社会ですぐに応用できる社会人基礎力が磨かれます。

- ◆卒業研究
- ◆海外環境政策演習

Student's VOICE

幅広い環境分野を通じて、向き合うべき課題を見つけることができた



環境科学部 環境社会システム学科 4年生
前川 哩子さん
| 北海道立北海道登別明日中等教育学校 出身

地方で環境問題の政策を学ぶ点に惹かれて入学を決めました。環境について幅広く、また問題同士の繋がりを学んだことで、自分の興味のあることを研究できることがこの学科の魅力です。また、フィールドワークも充実しており、日野町のイベントでは、町民の皆さんに環境保護計画を知ってもらった活動をしました。

学びの様子をCHECK! ▶▶



◆ 時間割モデル(2年生 後期)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1				環境シミュレーション	政策計画基礎演習Ⅱ
2		ドイツ語ⅡB	英語ⅣB		環境計画学
3	景観計画		社会システム分析設計・演習	応用統計学Ⅱ	英語ⅢB
4	環境政策学	合意形成支援技法・演習			市民参加論
5			環境経営学		

前川さんのCOMMENT

自分で問題を設定し、川や田んぼなど現地で調査を行う授業。インタビューなども自分から連絡を取り、行うことで成長につながりました。

OB・OG MESSAGE



現場に足を運ぶことで培った積極性と「丁寧な対話」

環境政策・計画学科 2023年度卒業
市榮 梨佳子さん
| 一般財団法人公園財団 海の中道管理センター 企画課企画係 ※2026年3月時点

学生生活の中で必要な情報を適切な媒体で得る方法を学ぶ機会が多く、現在の仕事におけるイベントの立案で役立っています。本学科での卒業研究では、福祉の側面から環境問題や地域活動にアプローチできる方法を模索。実際に現場に足を運ぶことを心掛け、学内では学べない福祉に関する知識や現場の様子を知ることができ刺激になりました。学科では、先生方も仲間も行動派な人が多く、日常的に深く熱い議論が繰り返り広げられます。この経験が仕事での話し合いに活かされていることを実感しています。

市榮さんの「今」

国営海の中道海浜公園でのイベント企画や運営業務をしています。業務では、実際に現場に出て人に会うことを大切にしています。そうすることで物事がスムーズにいくことが多く、学部での講義「フィールドワーク」を通じて培った、積極的に外に赴く姿勢が活かされています。





水環境政策 研究室

平山 奈央子 准教授

Research field

- 湖沼流域ガバナンス
- 水資源管理
- 住民参加

琵琶湖などの水環境について、地域住民やNPOなど多様な主体がどのように認識しているか把握し、問題に対して関係者らが協力して水環境保全に取り組むための手法を検討しています。東南アジアの水環境保全に関する研究テーマもあります。

Student's Report



久世 匠朗さん
卒業生

平山研究室では、水環境政策や住民参加等のテーマを扱い、アンケート調査やヒアリング調査を行うことができます。先生は学生との距離が近く、相談等もしやすいため、研究を進めやすい環境が整っていると思います。



森林経済・政策 研究室

高橋 卓也 教授

Research field

- 環境経営
- 森林政策・計画
- 資源・環境経済

森林と社会の関係を計量経済学で探ります。森林・木材の環境ラベルの普及、木造建築・森林レクリエーションの経済効果、花粉症と植林分布の関係、森林と幸福感の関係など。世界に向け森林国・日本の経験の発信もしています。

Student's Report



中嶋 千春さん
卒業生

木を通じて豊かな心を育む「木育」について研究をしています。ただパソコンに向かって分析するだけでなく、調査対象地域に実際に足を運び調査することで、濃い研究ができ、自身の経験値を増やす事が出来る研究室です。



社会-生態システム 研究室

堀 啓子 講師

Research field

- 環境工学
- サステナビリティ学
- エネルギーシステム

人間社会と自然生態系の持続可能な関係を探るため、人間社会側の動向と、それによる生態系側の影響をシームレスに研究しています。特に、人々のライフスタイルの変化や自然エネルギーの活用等のテーマを多く扱います。

Student's Report



西岡 聖奈さん
4回生

堀研究室では、各自が興味のある環境分野について、シミュレーションやデータ解析などの体系的手法を用いて研究しています。先生は学生の考えを尊重し、研究活動やイベントに積極的に関わってくださるため、充実したゼミ生活を送ることができます。



産業エコロジー 研究室

吉川 直樹 講師

Research field

- 環境システム学
- ライフサイクルアセスメント

製品のライフサイクル(生産～使用～廃棄までのプロセス)をトータルで捉える「ライフサイクル思考」を用い、リユース・リサイクルや環境保全型農業など、環境配慮型の製品・サービスの環境負荷を評価する研究を行っています。

Student's Report



坂本 陽太さん
4回生

吉川研究室では、LCA(ライフサイクルアセスメント)分析やマテリアルフロー分析などの手法を用いて、主に工業・農業分野に対して定量的な評価を行います。自分のペースで研究を進めやすく、独自の観点から環境影響評価を行いたい人にお勧めの研究室です。



環境地理学 研究室

香川 雄一 教授

Research field

- 環境地理学
- 都市社会地理学
- 地域環境政策

歴史的な地域開発によって発生した環境問題を主な研究対象として、地理情報システムや統計分析などの手法などを用いて、さまざまな環境問題の社会的側面について研究し、その解決策の提案を目指しています。

Student's Report



佐々木 颯透さん
4回生

香川研究室では、環境問題を主に地理学の観点から扱っており、地域調査を実施することや地形図を用いることによって、研究に取り組んでいます。先生は、学生が社会で活躍できるようになることを重視しており、自分の研究が身近な地域や現在の社会に対して、どのような影響を与えるかについてしっかり考えることができます。



地域社会・環境ガバナンス 研究室

平岡 俊一 教授

Research field

- 持続可能な地域づくり
- 市民参加・協働
- 社会学

持続可能な地域づくりに関心を持ち、その推進プロセスや取り組みを支える人や組織、制度などの強化について研究を行っています。地域での取り組みに実際に関与しながら調査を行う「参与観察調査」、「アクションリサーチ」を積極的に行っています。

Student's Report



徳永 歩美さん
4回生

平岡研究室では、まちづくりや中間支援組織などをテーマに、地域にたくさん関わりながら研究を進めます。実際に調査対象地域に訪れるため、地域の方と話せたり、様々な場所に行くことができたりする楽しい研究室です。

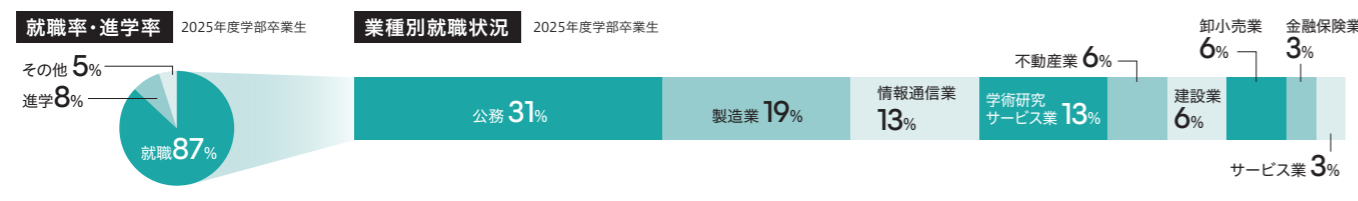
卒業論文テーマ例

- ◆自然資源に対する市民の再生可能エネルギー導入許容度を考慮したゾーニングの作成と評価
- ◆水疫学の有効性の検証と課題 - 滋賀県を対象に -
- ◆利用者の分布とアクセシビリティを考慮した都市公園の最適配置に関する研究
- ◆小学生を対象にした食育が食や食品ロスに関する意識におよぼす影響
- ◆ベトナムにおける水道水の質と量に関する住民評価と評価に影響を与える要因
- ◆廃食油BDF化事業における回収拠点の費用対効果的な設置方法 - 東近江市を事例として -

資格一覧※

- ◆教員免許(高等学校教諭一種(公民))
 - ◆社会調査士資格
 - ◆社会福祉士主任任用資格
 - ◆学芸員資格
 - ◆自然再生士補資格
 - ◆GIS学術士資格
- ※資格の取得には、大学が定める所定の科目の履修と単位修得が求められます。

進路状況



主な就職先

- 2023～2025年度学部卒業生
- 【企業】
 - ◆関西テレビ放送(株)
 - ◆(株)滋賀銀行
 - ◆積水樹脂(株)
 - ◆ダイキンレクザム
 - ◆エレクトロニクス(株)
 - ◆ダイハツ工業(株)
 - ◆京セラコミュニケーションシステム(株)
 - ◆西日本鉄道(株)
 - ◆西日本高速道路(株)
 - ◆日本電気硝子(株)
 - ◆(株)日立パワーソリューションズ
 - ◆フジフングループ本社(株)
 - ◆(株)星野リゾート
 - ◆(株)マイナビ
 - ◆(株)三井住友銀行
 - ◆三菱自動車工業(株)
 - ◆(株)LIXIL
 - 【行政機関】
 - ◆環境省
 - ◆東京国税局
 - ◆(独)国立印刷局
 - ◆滋賀県
 - ◆滋賀県警察本部
 - ◆大阪市
 - ◆彦根市
 - ◆大津市
 - ◆名古屋市
 - 【主な進学先】
 - 2023～2025年度学部卒業生
 - ◆滋賀県立大学大学院
 - ◆東北大学大学院
 - ◆名古屋大学大学院